

5) そ の 他 の カ ン キ ャ 類 審 査 基 準

No	形 質	定 義	調 査 方 法
1	樹 姿	枝条の水平に対する角度 直立：枝と枝の分岐角度が狭く上向き枝が多い 開張：枝と枝の分岐角度が広く樹冠が横に広がりやすい 下垂：枝梢先端からの発芽が多く細長く徒長し下垂する	観察による調査 調査上の注意事項①参照
2	枝梢の密度	単位容積あたりの枝梢の発生程度	観察による調査
3	樹の大きさ	樹容積 ※台木、樹齡、栽培条件の等しい対照品種と比較する	樹容積(㎡) $= \text{長径} \times \text{短径} \times \text{高さ} \times 0.7$ (0.1㎡まで)
4	樹 勢	枝梢の伸長程度などを対照品種と比較する	観察による調査
5	枝梢の太さ	1年生の發育枝(春枝)の基部の太さ	調査上の注意事項②参照 枝の基部から1cmの部位の直径をノギスで計測する (0.1mmまで)
6	枝梢の長さ	1年生の發育枝(春枝)の長さ	枝の長さを物差しで計測する (0.1cmまで)
7	節間長	1年生枝の節と節との間の距離	枝の中央部3節間の長さをノギスまたは物差しで計測し3で除した数 (0.1cmまで)
8	枝梢のとげの多少	$\text{調査した枝梢のとげの数} \div \text{調査した枝梢の全着葉節数} \times 100$	5で用いた枝を調査する (1%まで)
9	葉身の形	春枝の葉の葉身全体の形状	調査上の注意事項③参照 図例1参照 この際翼葉の形は無視する 葉のデータは等倍のコピーを取りこれを計測してもよい
10	葉身先端の形	葉身先端部の形状	図例2参照

状 態	階級	標 準 品 種
直立 中間 開張 下垂	3 5 7 9	吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、ニホ ^ホ ウキンカン 宮内伊予柑、白鳥日向、室戸小夏、アソール、マコト 紀州ミカン、平紀州、無核紀州 清見
粗 中 密	3 5 7	日向夏、白鳥日向、室戸小夏 宮内伊予柑、太田 ^ホ ンカン、吉田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、ニホ ^ホ ウキンカン
小 中 大	3 5 7	ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、日向夏、森田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、アソール、清見
弱 中 強	3 5 7	ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、白鳥日向、室戸小夏、タカン、紀州ミカン、清見 吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン
細 中 太 (~2.5未満) (2.5~3.0未満) (3.0~)	3 5 7	吉田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、平紀州、無核紀州、アソール 大谷伊予柑、タカン、紀州ミカン、マコト、清見、長実キンカン 普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、室戸小夏、ニホ ^ホ ウキンカン
短 中 長 (~10.0未満) (10.0~13.0未満) (13.0~)	3 5 7	宮内伊予柑、室戸小夏、森田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、長実キンカン 日向夏、白鳥日向、タカン、アソール、マコト、ニホ ^ホ ウキンカン 清見
極短 短 中 長 極長 (~1.0未満) (1.0~1.5未満) (1.5~2.0未満) (2.0~2.5未満) (2.5~)	1 3 5 7 9	長実キンカン 宮内伊予柑、室戸小夏、吉田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、ニホ ^ホ ウキンカン 日向夏、タカン、アソール、マコト 清見
無 少 中 多 (0) (1~10未満) (10~30未満) (30~)	1 3 5 7	宮内伊予柑、吉田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、清見 室戸小夏、アソール、マコト ニホ ^ホ ウキンカン 日向夏
披針形 紡錘形 橢円形 卵形 倒卵形	1 2 3 4 5	吉田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、平紀州、無核紀州、長実キンカン 日向夏、白鳥日向、室戸小夏、紀州ミカン、アソール、マコト 普通伊予柑、宮内伊予柑、勝山伊予柑、大谷伊予柑 カ好
鋭尖形 鈍尖形 鋭形 鈍形 円形	1 2 3 4 5	タカン、平紀州、無核紀州、清見、ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン カハナ 日向夏、吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、アソール、マコト 普通伊予柑、宮内伊予柑、勝山伊予柑、大谷伊予柑、 カ好

No	形 質	定 義	調 査 方 法
1 1	葉身基部の形	葉身基部の形状	図例3参照
1 2	葉身波状の程度	葉身波状の程度 無：葉の全面が平坦 弱：葉の縁が少し波打っている 中：中庸 強：葉の縁が甚だしく波打っている	観察による調査
1 3	葉身の大きさ	葉柄を除いた葉面積	葉面積計あるいは重量法を用いて葉身の面積を計測する (0.1cm ² まで)
1 4	葉身長	葉身の長さ	図例4参照 (0.1cmまで)
1 5	葉身幅	葉身の最大幅	図例4参照 (0.1cmまで)
1 6	葉形指数	葉身長÷葉身幅	 (0.1まで)
1 7	葉の厚さ	葉身中央部の厚さ	葉身中央部の葉脈の間をダイヤルゲージで計測する (0.01mmまで)
1 8	網脈の鮮明度	葉身表側の葉脈の明瞭さ	観察による調査
1 9	翼葉の形	翼葉の形状	図例5参照
2 0	翼葉の長さ	翼葉の長さ	葉の等倍コピーを使用してもよい 図例4参照 (0.1mmまで)
2 1	翼葉の幅	翼葉の幅	葉の等倍コピーを使用してもよい 図例4参照 (0.1mmまで)

状 態	階級	標 準 品 種
鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	1 2 3 4	平紀州、無核紀州 森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、清見、長実キンカン 普通伊予柑、日向夏、吉田 ^ホ ンカン、アンコール、マコト、ニホ ^ホ ウキンカン
無 弱 中 強	1 3 5 7	普通伊予柑、宮内伊予柑、大谷伊予柑、無核紀州 日向夏、吉田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、アンコール、ニホ ^ホ ウキンカン 白鳥日向、室戸小夏、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、清見
極小 (~15.0未満) 小 (15.0~20.0未満) 中 (20.0~30.0未満) 大 (30.0~40.0未満) 極大 (40.0~)	1 3 5 7 9	森田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、平紀州、ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、大谷伊予柑、白鳥日向、室戸小夏、アンコール 普通伊予柑、日向夏、マコト、清見
短 (~7.0未満) 中 (7.0~10.0未満) 長 (10.0~)	3 5 7	森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、ニホ ^ホ ウキンカン 宮内伊予柑、日向夏、吉田 ^ホ ンカン、平紀州、アンコール、清見
極狭 (~3.0未満) 狭 (3.0~4.0未満) 中 (4.0~5.0未満) 広 (5.0~6.0未満) 極広 (6.0~)	1 3 5 7 9	森田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、無核紀州、ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、日向夏、室戸小夏、吉田 ^ホ ンカン、アンコール、マコト 清見
極小 (~2.1未満) 小 (2.1~2.3未満) 中 (2.3~2.5未満) 大 (2.5~2.7未満) 極大 (2.7~)	1 3 5 7 9	白鳥日向、室戸小夏、吉田 ^ホ ンカン 宮内伊予柑、普通伊予、大谷伊予、日向夏、マコト 森田 ^ホ ンカン、紀州ミカン 太田 ^ホ ンカン、タカン、平紀州、無核紀州、長実キンカン
薄 (~0.30未満) 中 (0.30~0.40未満) 厚 (0.40~)	3 5 7	アンコール、マコト 宮内伊予柑、日向夏、吉田 ^ホ ンカン、タカン、清見、長実キンカン 室戸小夏、ニホ ^ホ ウキンカン
不明 やや明瞭 明瞭	1 2 3	太田 ^ホ ンカン、ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、日向夏、森田 ^ホ ンカン、タカン、平紀州 紀州ミカン、無核紀州、アンコール、マコト、清見
無 痕跡 紡錘形 楔形 心臓形	1 2 3 4 5	タカン、紀州ミカン、平紀州、無核紀州、アンコール、ニホ ^ホ ウキンカン 普通伊予柑、宮内伊予柑、吉田 ^ホ ンカン、マコト、清見 日向夏、白鳥日向、室戸小夏
短 (~10.0未満) 中 (10.0~15.0未満) 長 (15.0~)	3 5 7	日向夏、白鳥日向、室戸小夏
狭 (~5.0未満) 中 (5.0~10.0未満) 広 (10.0~)	3 5 7	日向夏、白鳥日向、室戸小夏

No	形 質	定 義	調 査 方 法
2 2	葉柄の長さ	葉柄の長さ	葉の等倍コピーを使用してもよい 図例4参照 (0.1mmまで)
2 3	葉柄の太さ	葉柄の基部の太さ	葉柄の基部の太さを葉面と垂直方向 にノギスで計測する (0.1mmまで)
2 4	花序の形成	花蕾の着生状態 単生：単生花のみ 総状：総状花序を形成する	観察による調査
2 5	花の重さ	咲きかかっている花蕾（花柄を含む）の 重さ	調査上の注意事項④参照 電子天秤などで計測する (0.01gまで)
2 6	花卉の形	開花した状態の花弁の形状	調査上の注意事項⑤参照 図例6参照
2 7	花卉の長さ	咲きかかっている花蕾の花弁の長さ	2 5のサンプルを用いる 1 花蕾から形の整った平均的な花弁 を1弁取りノギスで長さを計測する (0.1mmまで)
2 8	花卉の幅	咲きかかっている花蕾の花弁の幅	1 花蕾から形の整った平均的な花弁 を1弁取りノギスで幅を計測する (0.1mmまで)
2 9	花卉の色	咲きかかっている花蕾の花弁の外側の色	2 5のサンプルを用いる 観察による調査 油胞の色は無視する
3 0	花卉の数	1花あたりの花卉数	2 5のサンプルを用いて計測 (0.1枚まで)
3 1	花系の数	1花あたりの花系の数	2 5のサンプルを用いて計測 (0.1本まで)
3 2	花系の分離の程度	調査上の注意事項⑦参照 咲きかかっている花蕾の花系の分離状態	2 5のサンプルを用いる 観察による調査
3 3	花粉の多少	調査上の注意事項⑧参照 開花した状態における花粉の形成量の多 少	2 6のサンプルを用いる 花粉の形成量の多少を葯の色等から 観察する

状 態		階級	標 準 品 種
極短	(~10.0未満)	1	紀州ミカン、平紀州、無核紀州、アンコル、ニホウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、吉田キンカン、太田キンカン、タンカン、マーコット 日向夏、白鳥日向、室戸小夏、清見
短	(10.0~15.0未満)	3	
中	(15.0~20.0未満)	5	
長	(20.0~25.0未満)	7	
極長	(25.0~)	9	
細	(~ 1.5未満)	3	森田キンカン、タンカン、紀州ミカン、アンコル、マーコット、長実キンカン 宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、平紀州、ニホウキンカン 普通伊予柑、清見
中	(1.5~ 2.0未満)	5	
太	(2.0~)	7	
単生		1	森田キンカン、紀州ミカン、アンコル、マーコット、清見、ニホウキンカン 宮内伊予柑、大谷伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏
総状		2	
極軽	(~0.20未満)	1	吉田キンカン、紀州ミカン、平紀州、アンコル、マーコット、ニホウキンカン 森田キンカン、太田キンカン、タンカン、清見 普通伊予柑、室戸小夏 宮内伊予柑、勝山伊予柑、大谷伊予柑、日向夏 白鳥日向
軽	(0.20~0.40未満)	3	
中	(0.40~0.60未満)	5	
重	(0.60~0.80未満)	7	
極重	(0.80~)	9	
紡錘形		1	宮内伊予柑、日向夏、森田キンカン、紀州ミカン、アンコル、清見 カクダイ
披針形		2	
へら形		3	
極短	(~10.0未満)	1	ニホウキンカン、長実キンカン 吉田キンカン、タンカン、紀州ミカン、アンコル、マーコット、清見 普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏
短	(10.0~15.0未満)	3	
中	(15.0~20.0未満)	5	
長	(20.0~25.0未満)	7	
極長	(25.0~)	9	
極狭	(~ 4.0未満)	1	紀州ミカン、平紀州、無核紀州、ニホウキンカン、長実キンカン マーコット 吉田キンカン、森田キンカン、太田キンカン、アンコル、清見 普通伊予柑、宮内伊予柑、室戸小夏、タンカン 大谷伊予柑、日向夏、白鳥日向
狭	(4.0~ 5.0未満)	3	
中	(5.0~ 6.0未満)	5	
広	(6.0~ 7.0未満)	7	
極広	(7.0~)	9	
白		1	宮内伊予柑、日向夏、森田キンカン、紀州ミカン、アンコル、清見
淡黄		2	
帯紫		3	
4枚	(~ 4.5未満)	1	宮内伊予柑、日向夏、森田キンカン、紀州ミカン、アンコル、清見
5枚	(4.5~ 5.5未満)	2	
6枚	(5.5~)	3	
小	(~20.0未満)	3	吉田キンカン、平紀州、アンコル、マーコット、清見、ニホウキンカン 普通伊予柑、宮内伊予柑、室戸小夏、タンカン、紀州ミカン 日向夏、白鳥日向
中	(20.0~25.0未満)	5	
多	(25.0~)	7	
分離		1	森田キンカン、太田キンカン、清見 普通伊予柑、宮内伊予柑、大谷伊予柑、タンカン、アンコル 紀州ミカン、平紀州、無核紀州、ニホウキンカン、長実キンカン
一部合一		2	
合一		3	
無		1	清見
少		3	
中		5	
多		7	

No	形 質	定 義	調 査 方 法
34	子房の形	咲きかかっている花蕾の子房の形状	25のサンプルを用いる 図例7参照
35	花柱の形	咲きかかっている花蕾の花柱の形状	25のサンプルを用いる 図例8参照
36	果実の形	果実の側面からみた形状	調査上の注意事項⑥参照 図例9参照 いずれにも当てはまらない場合は典型的な果形を図示する
37	果形指数	果形指数＝果実横径÷果実縦径×100 果実縦径にはネックの高さも含めて計測する	(整数)
38	果頂部の形	果実縦断面における果頂部の形状 凹環やへそは無視する	図例10参照
39	果頂部放射条溝の有無	果頂部における明瞭な放射条溝の有無	観察による調査
40	果頂部の凹環の有無	果頂部花柱痕の周辺の環状の陥没または円盤状に盛り上がった形状の有無	観察による調査
41	果梗部の形	果実縦断面における果梗部の形状	図例11参照
42	果梗部放射条溝の多少	果梗部周辺の明瞭な放射条溝の多少	明瞭な放射条溝の数を観察により計測する (0.1本まで)

状 態		階級	標 準 品 種
長球 球 扁球 扁平 樽形 短卵形 洋梨形		1	
		2	吉田 ^ホ ンカン、二本 ^ホ ウキンカン
		3	森田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、無核紀州、アンコール、マーコット、清見
		4	平紀州
		5	タンカン
		6	普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、室戸小夏、長実キンカン
		7	
直 弓形 湾曲		1	普通伊予柑、吉田 ^ホ ンカン、タンカン、紀州ミカン、アンコール、二本 ^ホ ウキンカン
		2	室戸小夏、宮内伊予柑、大谷伊予柑、日向夏、二本 ^ホ ウキンカン
		3	清見
長球 球 扁球 扁平 短卵形 洋梨形 紡錘形		1	長実キンカン、二本 ^ホ ウキンカン
		2	
		3	普通伊予柑、宮内伊予柑、森田 ^ホ ンカン、無核紀州、清見
		4	アンコール、平紀州、紀州ミカン、マーコット
		5	サザンイエロー
		6	
		7	
極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	(～ 80未満)	1	
	(80～ 90未満)	2	長実キンカン
	(90～100未満)	3	二本 ^ホ ウキンカン
	(100～110未満)	4	
	(110～120未満)	5	大谷伊予柑、日向夏、室戸小夏、吉田 ^ホ ンカン、タンカン
	(120～130未満)	6	普通伊予柑、宮内伊予柑、森田 ^ホ ンカン、無核紀州
	(130～140未満)	7	紀州ミカン、マーコット
	(140～150未満)	8	アンコール
	(150～)	9	平紀州
陥没 平坦 円 突		1	普通伊予柑、宮内伊予柑、吉田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、平紀州
		2	日向夏、白鳥日向、タンカン、アンコール、マーコット、清見
		3	二本 ^ホ ウキンカン、長実キンカン
		4	
無 有		1	大谷伊予柑、室戸小夏、タンカン、紀州ミカン、アンコール、マーコット、清見
		9	普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、吉田 ^ホ ンカン、平紀州
無 不明瞭 有		1	宮内伊予柑、森田 ^ホ ンカン、タンカン、紀州ミカン、アンコール、清見
		5 9	日向夏、白鳥日向、室戸小夏
長いネック 短いネック 球面 切平面 やや凹 深い凹 低 ^{カー} 凹 高 ^{カー} 凹 低 ^{カー} 短ネック		1	
		2	吉田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン
		3	大谷伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏、清見
		4	タンカン、紀州ミカン、マーコット、二本 ^ホ ウキンカン、長実キンカン
		5	普通伊予柑、勝山伊予柑、森田 ^ホ ンカン、平紀州、無核紀州
		6	
		7	
		8	
		9	
無 少 中 多	(0)	1	室戸小夏、二本 ^ホ ウキンカン、長実キンカン
	(0.1～ 3.0未満)	3	日向夏、白鳥日向、紀州ミカン、清見
	(3.0～ 6.0未満)	5	普通伊予柑、大谷伊予柑、タンカン、平紀州、無核紀州、マーコット
	(6.0～)	7	宮内伊予柑、吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、アンコール

N o	形 質	定 義	調 査 方 法
43	果心の充実度	空：果心組織がほとんど崩壊し空洞化 粗：果心組織がじょうのうから完全分離 中：果心組織の一部が裂開または崩壊 密：果心組織の裂開がなく充実	果実赤道部横断面の観察による調査
44	果心の大きさ	果心の直径÷果実横径×100	図例12参照 果実横断面の果心の直径を計測 果実横径は果形指数の算出に用いた 数値 (整数)
45	果実の重さ	成熟期の平均的な果実の重さ キンカンについては別の階級区分値を用 いる	電子天秤などを用いて果実の重さを 計測する (0.1gまで)
46	果皮の色	成熟期における果皮の色	観察による調査 日本園芸植物標準色標に準拠し系統 色名、コード番号を記載する
47	アルベドの色	成熟期の果実のアルベドの色	観察による調査 日本園芸植物標準色標に準拠し系統 色名、コード番号を記載する
48	油胞の大きさ	果実赤道部の油胞の大きさ	観察による調査
49	油胞の密度	果実赤道部の油胞の密度	観察による調査 果実赤道部の果皮1cmあたりの油胞 数を計測する (0.1個/cmまで)
50	油胞の凹凸	果実赤道部の油胞の凹凸	観察による調査

状 態	階級	標 準 品 種
空 粗 中 密	1 3 5 7	吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン 普通伊予柑、宮内伊予柑、紀州ミカン、平紀州、アンコール マコット、清見 日向夏、白鳥日向、室戸小夏、ニホ ^ホ ウキンカン、長実キンカン
極小 小 中 大 極大 (~15未満) (15~20未満) (20~25未満) (25~30未満) (30~)	1 3 5 7 9	日向夏、タカン、清見、長実キンカン 白鳥日向、マコット、ニホ ^ホ ウキンカン アンコール 大谷伊予柑、森田 ^ホ ンカン、紀州ミカン、平紀州、無核紀州 普通伊予柑、宮内伊予柑、吉田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン
極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重 (~ 30.0未満) (30.0~ 60.0未満) (60.0~ 90.0未満) (90.0~120.0未満) (120.0~150.0未満) (150.0~200.0未満) (200.0~300.0未満) (300.0~500.0未満) (500.0~) キンカンのみ 軽 やや軽 中 やや重 重 (~ 10.0未満) (10.0~ 15.0未満) (15.0~ 20.0未満) (20.0~ 25.0未満) (25.0~)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6 7	紀州ミカン、無核紀州 室戸小夏、平紀州 森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、マコット 日向夏、白鳥日向、吉田 ^ホ ンカン、アンコール、清見 普通伊予柑、宮内伊予柑、勝山伊予柑、大谷伊予柑 マキンカン ニホ ^ホ ウキンカン 長実キンカン チヨウジ ^ホ キンカン
黄緑 黄白 黄 黄橙 橙 濃橙 赤橙 橙赤	1 2 3 4 5 6 7 8	日向夏、白鳥日向、室戸小夏 清見 吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、ニホ ^ホ ウキンカン 普通伊予柑、宮内伊予柑、勝山伊予柑、大谷伊予柑、マコット アンコール
白 淡黄 淡橙 帯紅(ビ ^ホ ンカ)	1 2 3 4	日向夏、白鳥日向、室戸小夏 宮内伊予柑、森田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、清見、ニホ ^ホ ウキンカン アンコール、マコット
小 中 大 大小混合	3 5 7 9	吉田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、紀州ミカン、平紀州、マコット 普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、アンコール、ニホ ^ホ ウキンカン 清見
疎 中 密 (40.0~ 60.0未満) (60.0~ 80.0未満) (80.0~100.0未満)	3 5 7	大谷伊予柑 宮内伊予柑、日向夏、紀州ミカン、清見、ニホ ^ホ ウキンカン 吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、アンコール、マコット
凹 平 凸 凸凹	1 2 3 4	宮内伊予柑、勝山伊予柑、日向夏、紀州ミカン、平紀州 大谷伊予柑、白鳥日向、室戸小夏、アンコール、マコット、長実キンカン 吉田 ^ホ ンカン、森田 ^ホ ンカン、太田 ^ホ ンカン、タカン、清見、ニホ ^ホ ウキンカン

No	形 質	定 義	調 査 方 法
51	果面の粗滑	果実赤道部の果面の粗滑	観察による調査
52	果皮の厚さ	果実赤道部の果皮の厚さ（アルベドを含む）	図例12参照 果実横断面または縦断面の赤道部の果皮の厚さをノギスで計測する (0.1mmまで)
53	果皮歩合	果皮の重さ÷果実の重さ×100	果実の重さと果肉または果皮の重さから算出する (0.1%まで)
54	剥皮の難易	調査上の注意事項④参照 成熟した果実の剥皮性の難易	観察による調査
55	じょうのう膜の硬さ	食味によるじょうのう膜の硬さ 軟：違和感なく食べられる 中：食べると違和感が残る 硬：じょうのうごと食べられない	食味による調査
56	さじょうの形	果実横断面のじょうのう中央部のさじょうの形状	観察による調査
57	さじょうの大きさ	果実横断面のじょうのう中央部のさじょうの大きさ	観察による調査
58	さじょうの色 (果肉色)	果実横断面のさじょう（果肉）の色	観察による調査 日本園芸植物標準色標に準拠し系統色名、コード番号を記載する
59	果汁の多少	食味により感じる果汁の多少	食味による調査

状 態	階級	標 準 品 種
滑 やや滑 中 やや粗 粗	3 4 5 6 7	大谷伊予柑、マーコット、ニンボウキンカン、長実キンカン 勝山伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏、アンコル、清見 宮内伊予柑、吉田ボウカン、森田ボウカン、タカン、紀州ミカン 普通伊予柑、平紀州
極薄 薄 中 厚 極厚	(~2.0未満) 3 (2.0~3.0未満) 5 (3.0~4.5未満) 7 (4.5~7.0未満) 9 (7.0~)	紀州ミカン、無核紀州 タカン、平紀州、アンコル、マーコット 室戸小夏、吉田ボウカン、森田ボウカン、太田ボウカン、ニンボウキンカン 普通伊予柑、大谷伊予柑、日向夏、白鳥日向、清見
極小 小 中 大 極大	(~15.0未満) 1 (15.0~20.0未満) 3 (20.0~30.0未満) 5 (30.0~40.0未満) 7 (40.0~) 9	マーコット タカン 森田ボウカン、紀州ミカン、平紀州、アンコル、清見 宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、吉田ボウカン、無核紀州 ニンボウキンカン、長実キンカン
易 やや易 中 やや難 難	3 4 5 6 7	吉田ボウカン、太田ボウカン、紀州ミカン、平紀州、無核紀州 タカン、アンコル 普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、ニンボウキンカン 大谷伊予柑、清見 清峰
軟 中 硬	3 5 7	吉田ボウカン、森田ボウカン、太田ボウカン、マーコット 宮内伊予柑、日向夏、タカン、紀州ミカン、ニンボウキンカン 早香
短 中 細長 太長	1 2 3 4	吉田ボウカン、太田ボウカン、紀州ミカン、無核紀州、ニンボウキンカン 宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、アンコル、マーコット、清見 タカン
極小 小 中 大 極大	1 3 5 7 9	ニンボウキンカン、長実キンカン タカン、紀州ミカン、平紀州、清見 日向夏、白鳥日向、吉田ボウカン、太田ボウカン、アンコル、マーコット 普通伊予柑、宮内伊予柑、勝山伊予柑、大谷伊予柑
淡緑 黄白 黄 黄橙 橙 濃橙 ピンク 赤紫	1 2 3 4 5 6 7 8	日向夏、白鳥日向、室戸小夏 普通伊予柑、宮内伊予柑、大谷伊予柑、ニンボウキンカン 吉田ボウカン、タカン、紀州ミカン、アンコル、マーコット、清見
少 中 多	3 5 7	ニンボウキンカン 宮内伊予柑、タカン、紀州ミカン、アンコル、マーコット、清見

No	形 質	定 義	調 査 方 法
60	甘 味	果汁の糖度計示度	屈折糖度計により糖度を計測する (0.1度まで)
61	苦みの有無	食味により感じる苦みの有無	食味による観察
62	酸 味	果汁中のクエン酸含量	化成ソーダ水溶液による果汁の滴定 値から換算して計測する (0.01g/100mlまで)
63	香気の多少	剥皮時に感じる香気の強さ	剥皮時の嗅覚による観察
64	香気の種類	(既存品種の香気との比較)	類似の香気を持つ既存品種名を記載
65	種子数	果実に含まれる種子の数	果実1個あたりに含まれる種子の数を計測 生食の障害にならない小さいなしいなは除く
66	胚の色	多胚性品種における珠心胚の色 単胚性品種は調査しない	観察による調査
67	胚の数	胚の多少	観察による調査
68	発芽期	発芽期の早晩 発芽始期は新芽の過半数が3mmに伸長したときとする	観察による調査 同一園の対照品種と比較する
69	開花期	開花始期の早晩 開花始期は蕾が連続して開花し始めたときとする	観察による調査 同一園の対照品種と比較する
70	四季咲性の有無	四季咲性の有無	観察による調査
71	成熟期	食味が最も良くなったと考えられる時期	食味を含めた観察による調査

状 態		階級	標 準 品 種
低	(~ 9.0未満)	3	
やや低	(9.0~10.0未満)	4	日向夏
中	(10.0~11.0未満)	5	宮内伊予柑、白鳥日向、室戸小夏、タカン
やや高	(11.0~12.0未満)	6	吉田ホシカン、森田ホシカン、紀州ミカン、無核紀州、清見
高	(12.0~)	7	平紀州、アソール、マコト、ニホホシカン、長実カン
無 有		1 9	宮内伊予柑、日向夏、森田ホシカン、紀州ミカン、アソール、清見
極低	(~0.50未満)	1	
低	(0.50~1.00未満)	3	吉田ホシカン、森田ホシカン、太田ホシカン、平紀州、無核紀州
中	(1.00~1.50未満)	5	タカン、紀州ミカン、アソール、マコト、清見
高	(1.50~2.00未満)	7	普通伊予柑、宮内伊予柑、大谷伊予柑、室戸小夏
極高	(2.00~)	9	ニホホシカン、長実カン
少		3	紀州ミカン、平紀州、無核紀州
中		5	日向夏、室戸小夏、マコト、清見、ニホホシカン、長実カン
多		7	普通伊予柑、吉田ホシカン、森田ホシカン、太田ホシカン、アソール
(類似品種)		記入	
無	(~ 1.0未満)	1	無核紀州
少	(1.0~ 5.0未満)	3	宮内伊予柑、室戸小夏、森田ホシカン、タカン、清見
中	(5.0~10.0未満)	5	大谷伊予柑、白鳥日向、吉田ホシカン、太田ホシカン、紀州ミカン
多	(10.0~)	7	普通伊予柑、日向夏、平紀州、アソール、マコト
白		1	
黄白		2	タカン、マコト
淡緑		3	
緑		4	吉田ホシカン、森田ホシカン、太田ホシカン、ニホホシカン
単胚		1	宮内伊予柑、日向夏、紀州ミカン、清見、長実カン
多胚		2	吉田ホシカン、森田ホシカン、タカン、マコト、ニホホシカン
早		3	
中		5	普通伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏
晩		7	
早		3	
中		5	普通伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏
晩		7	
無 有		1 9	宮内伊予柑、日向夏、吉田ホシカン、タカン、紀州ミカン、清見 ニホホシカン、長実カン
極早	(11月)	1	
かなり早	(12月)	2	紀州ミカン、平紀州、無核紀州
早	(1月)	3	太田ホシカン
やや早	(2月)	4	宮内伊予柑、吉田ホシカン、森田ホシカン、ニホホシカン、長実カン
中	(3月)	5	大谷伊予柑、タカン、アソール、マコト、清見
やや晩	(4月)	6	普通伊予柑、白鳥日向、室戸小夏
晩	(5月)	7	日向夏
かなり晩	(6月)	8	セノール
極晩	(7月)	9	

No	形 質	定 義	調 査 方 法
72	隔年結果性	隔年結果性の程度	観察による調査
73	着色の難易	成熟期における果皮の緑色の抜けの良さ	観察による調査
74	後期落果の多少	成熟前の後期落果の発生程度	観察による調査
75	日焼け果の発生	日焼け障害果の発生割合	観察による調査
76	浮皮果の発生	浮き皮果の発生程度	観察による調査
77	裂果の発生	裂果の発生程度	観察による調査
78	その他の生理障害	果実におけるその他の生理障害の発生程度	観察による調査
79	貯蔵性	慣行の貯蔵法による比較	観察による調査
80	果実の耐寒性	果実の耐寒性の強弱	観察による調査
81	樹体の耐寒性	樹体の耐寒性の強弱	観察による調査
82	かいよう病抵抗性	かいよう病に対する抵抗性	観察による調査
83	そうか病抵抗性	そうか病に対する抵抗性	観察による調査
84	こくてん病抵抗性	こくてん病に対する抵抗性	観察による調査

状 態	階級	標 準 品 種
低 中 高	3 5 7	宮内伊予柑、日向夏、紀州ミカン、ニホンウキンカン、長実キンカン 吉田ホシカン、森田ホシカン、太田ホシカン、マーコット アンコール、清見
不良 良	1 9	早香 宮内伊予柑、日向夏、森田ホシカン、紀州ミカン、アンコール、清見
無 少 中 多	1 3 5 7	シクラジャー 宮内伊予柑、日向夏、森田ホシカン、紀州ミカン、アンコール、清見 ありあけ かなた
無 少 中 多	1 3 5 7	白鳥日向、室戸小夏、吉田ホシカン、森田ホシカン、太田ホシカン 宮内伊予柑、日向夏、紀州ミカン、マーコット、清見、ニホンウキンカン 大谷伊予柑
無 少 中 多	1 3 5 7	大谷伊予柑、日向夏、マーコット、清見、ニホンウキンカン、長実キンカン 普通伊予柑、宮内伊予柑、勝山伊予柑、アンコール タンカン、紀州ミカン、無核紀州 吉田ホシカン、森田ホシカン、太田ホシカン、平紀州
無 少 中 多	1 3 5 7	宮内伊予柑、日向夏、森田ホシカン、紀州ミカン、アンコール、清見 ありあけ
無 少 中 多	1 3 5 7	
短 中 長	3 5 7	紀州ミカン、無核紀州、ニホンウキンカン、長実キンカン 吉田ホシカン、太田ホシカン、タンカン、アンコール、マーコット、清見 普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏
弱 中 強	3 5 7	普通伊予柑、宮内伊予柑、清見、ニホンウキンカン、長実キンカン
弱 中 強	3 5 7	普通伊予柑、宮内伊予柑、日向夏、白鳥日向、室戸小夏 吉田ホシカン、太田ホシカン、ニホンウキンカン、長実キンカン
弱 中 強	3 5 7	マーコット 日向夏、白鳥日向、室戸小夏、吉田ホシカン、タンカン
弱 中 強	3 5 7	清見、ニホンウキンカン、長実キンカン 宮内伊予柑、太田ホシカン、タンカン、アンコール、マーコット
弱 中 強	3 5 7	宮内伊予柑、太田ホシカン、日向夏、紀州ミカン、清見、アンコール

No	形 質	定 義	調 査 方 法
85	ヤノネカイガラム シ抵抗性	ヤノネカイガラムシに対する抵抗性	観察による調査
86	果皮の甘味 (きんかんのみ)	果皮の甘味の程度	食味による調査
87	果皮の苦味 (きんかんのみ)	果皮の苦みの有無	食味による調査

状 態	階級	標 準 品 種
弱 中 強	3 5 7	宮内伊予柑、太田 ^ホ カン、日向夏、紀州 ^ミ カン、清見、アノール
低 中 高	3 5 7	
無 有	1 9	ニ ^ホ ガ ^ホ カン、長実 ^キ カン

3 調査上の注意事項

調査に当たっては、同じ条件のもとで栽培されている樹齢のほぼ等しい対照品種の設定が望ましい。対照品種としては、親品種、親が同じ品種あるいはその他の既存品種の中から出願品種に特性が類似した品種を選ぶ。

調査用サンプルは、少なくとも2～3年間安定した結実状態に達している樹体から採取する。未結実あるいは初結実の樹体から採取した枝梢や果実の特性は、その後の結果母枝の状態の変化等から変わってくることが多いので注意が必要である。

①木の調査

安定した結実樹齢に達している木で調査する。調査は原則として果実の成熟期に行う。

②枝梢調査用サンプルの採取

枝梢の調査は原則として果実の成熟期に行う。春枝の展葉硬化以後で夏秋梢が発生していなければ、翌春までに対照品種と同時に調査したのでよい。サンプルは結実樹齢に達している木の東西南北全面から採取し、樹冠中段外周において前年度の果梗枝から発生した発育枝（春枝）を基部から切りとる。徒長枝や夏秋梢はサンプルから除外する。サンプルは15本とりその中から平均的な枝10本を調査する。

③葉のサンプルの採取

葉のサンプルは②の枝から、平均的な大きさで形の整った葉を原則として枝1本につき2枚ずつ採取し、このうち10枚を調査する。

④花のサンプルの採取－1

花蕾の重さ、花卉の長さ、花卉の色、花卉の数、花糸の数、花糸の分離の程度、子房の形、花柱の形の調査には、花卉がほころびかかった開花直前の花蕾を用いる。サンプル数20個。

⑤花のサンプルの採取－2

花卉の形、花粉の多少の調査には④のサンプルでなく、当日開花して花卉が完全に裂開しまだ振り返っていない花を用いて調査を実施する。サンプル数10個。

⑥果実のサンプルの採取

果実の調査は原則として成熟期に実施する。樹冠外周中段に結実した、平均的な大きさ及び果形の果実を採取する。サンプル数10個。

⑦花系の分離状態の定義

- 分離：花系がそれぞれ分離しており、脱落するとバラバラになる。
- 一部合一：花系が脱落してもバラバラにならず数本くっついたものがある。
- 合一：花系が筒状に合一している

⑧花粉の多少の定義

- 無：花粉の形成が認められず、葯が白色である。
- 少：花粉の形成がわずかで葯が裂開しないか、裂開しても花粉がほとんど放出されない。葯の色は中心部がやや黄色く見える。
- 中：少と多の中間。花粉の放出量がさほど多くない。
- 多：葯が裂開した状態で花粉の放出量が多い。葯は濃黄色である。

⑨剥皮性の定義

- 易：果皮を連続して容易に剥くことができる。
- やや易：手で比較的容易に剥けるが、果皮がもろいか果肉に密着して連続しては剥きにくい。
- 中：容易ではないがナイフ等を用いなくても手で剥くことができる。
- やや難：ナイフ等を用いないと剥くことができない。アルベドとじょうのうの剥離はよい。
- 難：果皮が厚くて硬い。あるいはアルベドが密着してじょうのうとの剥離が極めて悪い。

4 特性検定のための栽培試験方法

① 耕種基準

- (1) 台木：同系統の台木を使用して比較を行う。
- (2) 施肥量・施肥方法：各地域の施肥基準で実施する。
- (3) その他圃場管理：同一の管理方法にて比較を行う。

② 最低供試個体数

原則として3個体以上(2反復)を供試する。

③ 対照品種

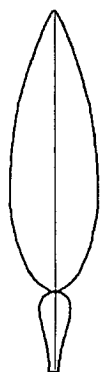
親品種、親が同じ品種、あるいはその他の既存品種の中から果形、果皮色、成熟期等の特性が出願品種と類似した品種を選ぶ。

④ 特性を検定する上での留意点

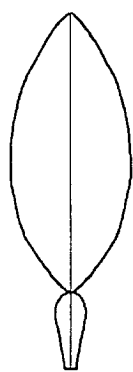
- (1) 苗木を定植しての栽培試験を原則とし、高接ぎ栽培は参考とする。
- (2) 対照品種とは同一な樹齢での比較を原則とする。
- (3) 試験は対照品種との区別性が判定できるまでの最小年限とする。

7) 観察によって調査する形質の参考図例 (Explanations)

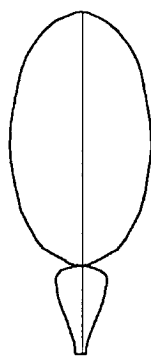
図例 1 葉身の形 (Fig.1 Blade shape)



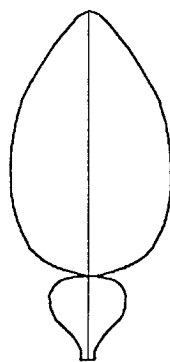
披針形
(lanceolate)



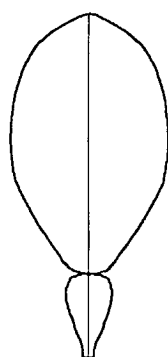
紡錘形
(spindle-shaped)



橢円形
(elliptic)



卵形
(ovoid)

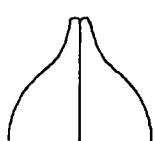


倒卵形
(obovate)

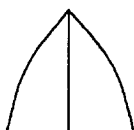
図例 2 葉身先端の形 (Fig.2 Blade apex shape)



鋭尖形
(pointed acute)



鈍尖形
(pointed obtuse)



鋭形
(acute)

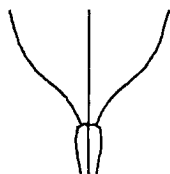


鈍形
(obtuse)

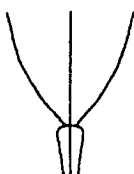


円形
(round)

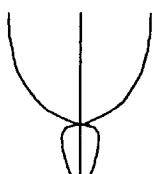
図例 3 葉身基部の形 (Fig.3 Blade base shape)



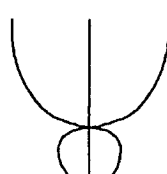
鋭尖形
(pointed acute)



鋭形
(acute)

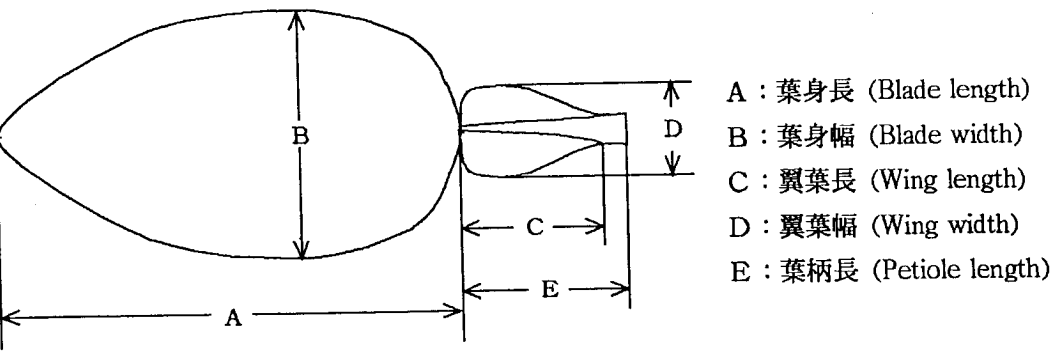


鈍形
(obtuse)

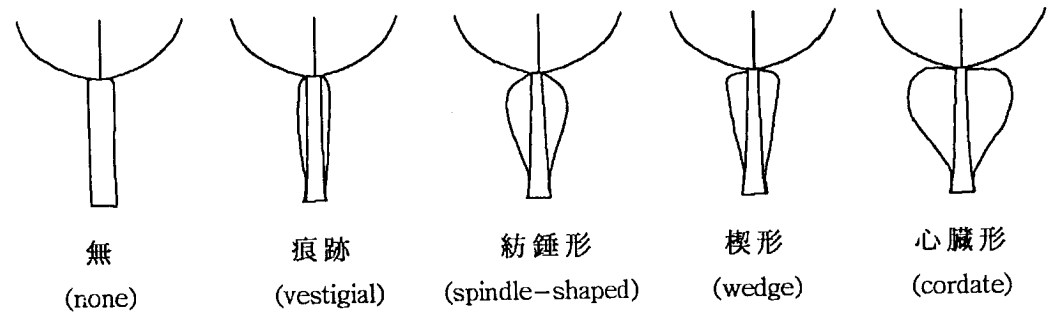


円形
(round)

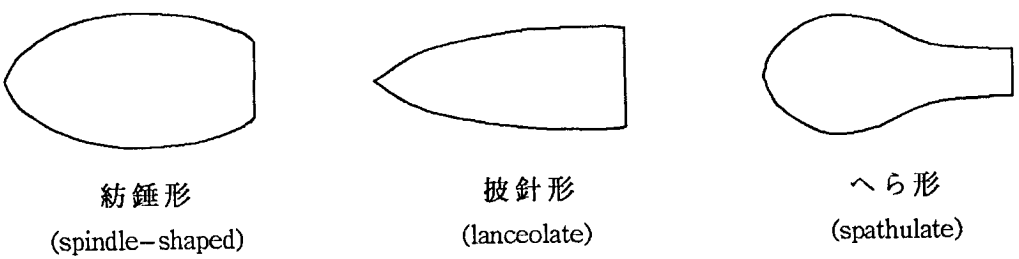
図例 4 葉の計測法 (Fig.4 Measurement of mature leaf)



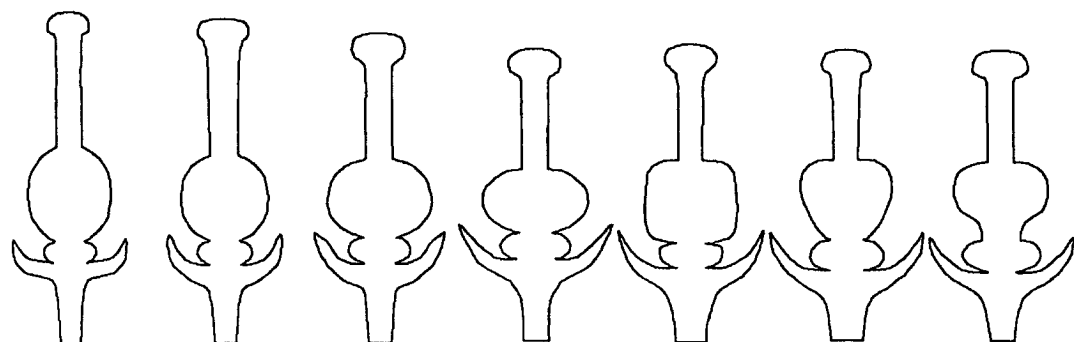
図例 5 翼葉の形 (Fig.5 Wing shape)



図例 6 花卉の形 (Fig.6 Petal shape)



図例 7 子房の形 (Fig.7 Ovary shape)



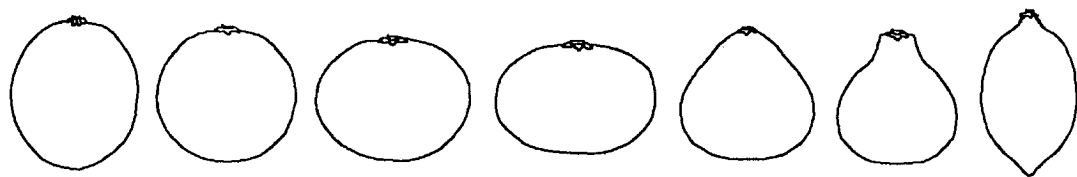
長球 (long globose) 球 (globose) 扁球 (oblate) 扁平 (compressed) 樽形 (cask) 短卵形 (broad ovate) 洋梨形 (pear)

図例 8 花柱の形 (Fig.8 Style shape)



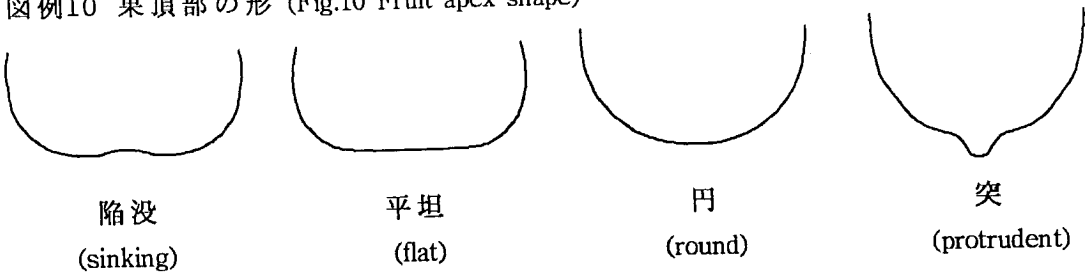
直 (straight) 弓形 (arched) 湾曲 (curved)

図例 9 果実の形 (Fig.9 Fruit shape)

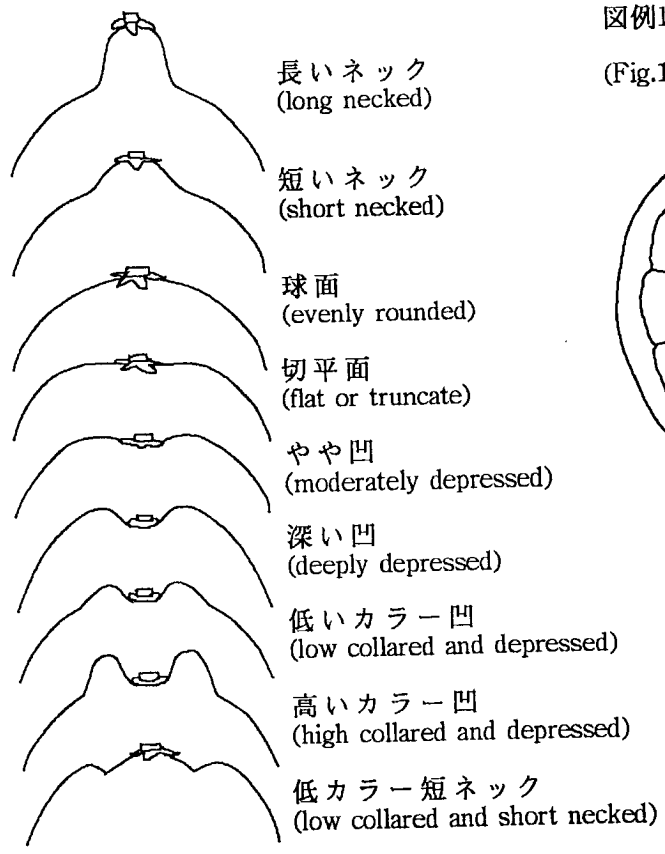


長球 (long globose) 球 (globose) 扁球 (oblate) 扁平 (compressed) 短卵形 (broad ovate) 洋梨形 (pear) 紡錘形 (spindle-shaped)

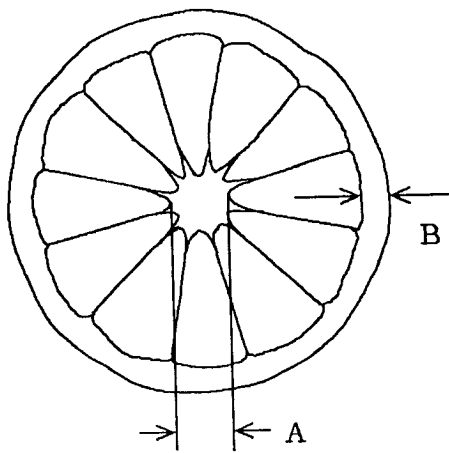
図例10 果頂部の形 (Fig.10 Fruit apex shape)



図例11 果梗部の形 (Fig.11 Peduncle part shape of fruit)



図例12 果実横断面図 (Fig.12 Transverse section of fruit)



A : 果心の大きさ
(Core size)

B : 果皮の厚さ
(Peel thickness)

8) 調査する形質の参考資料

果皮の色 (Skin color)

状 態 (Characteristics)	各状態に該当する J H S カラーチャートナンバー (J. H. S. Color Chart Number)
黄緑 (yellow-green)	2907:濃緑黄 (deep greenish yellow)
黄白 (yellow-white)	2703, 2904:浅緑黄 (light greenish yellow)
淡黄 (light-yellow)	2505:明黄 (bright yellow), 2511:浅黄 (light yellow)
黄 (yellow)	2205:鮮橙黄 (vivid reddish yellow) 2506:明黄 (bright yellow)
黄橙 (yellow-orange)	1906:鮮黄橙 (vivid yellowish orange)
橙 (orange)	1606:橙 (strong orange)
濃橙 (dark-orange)	1307:濃橙 (deep orange)
赤橙 (strong reddish orange)	1012:赤橙 (strong reddish orange)
橙赤 (strong yellowish red)	0713:橙赤 (strong yellowish red) 1007:濃赤橙 (deep reddish orange)

アルベドの色 (Albedo color)

状 態 (Characteristics)	各状態に該当する J H S カラーチャートナンバー (J. H. S. Color Chart Number)
白 (white)	1901, 2201:黄白 (yellowish white)
淡黄 (light-yellow)	2503:淡黄 (pale yellow) 2702:淡緑黄 (pale greenish yellow)
淡橙 (light-orange)	1902:淡黄橙 (pale yellowish orange) 2202:淡橙黄 (pale reddish yellow)
帯紅 (pink)	1002:淡黄ピンク (pale yellowish pink)

さじょうの色 (Flesh color)

状 態 (Characteristics)	各状態に該当する J H S カラーチャートナンバー (J. H. S. Color Chart Number)
淡緑 (light-green)	2906:鮮緑黄 (vivid greenish yellow)
黄白 (yellow-white)	2703, 2904:浅緑黄 (light greenish yellow)
黄 (yellow)	2205:鮮橙黄 (vivid reddish yellow) 2506:明黄 (bright yellow)
黄橙 (yellow-orange)	1906:鮮黄橙 (vivid yellowish orange)
橙 (orange)	1606:橙 (strong orange)
濃橙 (dark-orange)	1307:濃橙 (deep orange)
ピンク (pink)	0703:黄ピンク (yellowish pink)
赤紫 (red-purple)	0110:暗紅 (dark red)

5) Other citrus

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
1	Tree habit	upright medium spreading weeping	3 5 7 9	Ota Ponkan, Tankan Miyauchi Iyo, Encore Kinokuni Kiyomi	
2	Shoot density	sparse medium dense	3 5 7	Hyuganatsu Miyauchi Iyo, Ota Ponkan	
3	Tree size	small medium large	3 5 7	Meiwa Kumquat Miyauchi Iyo, Encore	
4	Tree vigor	weak medium strong	3 5 7	Meiwa Kumquat Miyauchi Iyo, Kinokuni Morita Ponkan, Ota Ponkan	
5	One-year-old shoot diameter	thin medium thick	3 5 7	Ota Ponkan, Seedless Kinokuni Otani Iyo, Kiyomi Iyo, Hyuganatsu	shoot base
6	One-year-old shoot length	short medium long	3 5 7	Miyauchi Iyo, Muroto-konatsu Hyuganatsu, Tankan, Encore Kiyomi	spring current shoot
7	One-year-old shoot internode	very short short medium long very long	1 3 5 7 9	Nagami Kumquat Miyauchi Iyo, Kinokuni Hyuganatsu, Encore Kiyomi	
8	One-year-old shoot spine	none few medium many	1 3 5 7	Miyauchi Iyo Muroto-konatsu, Encore Meiwa Kumquat Hyuganatsu	
9	Leaf blade shape	lanceolate spindle-shaped elliptic ovoid obovate	1 2 3 4 5	Ota Ponkan, Tankan Hyuganatsu, Kinokuni, Encore Miyauchi Iyo Trifoliate orange	Fig.1
10	Leaf blade apex shape	pointed acute pointed obtuse acute obtuse round	1 2 3 4 5	Tankan, Kiyomi Tachibana Hyuganatsu, Kinokuni Miyauchi Iyo Trifoliate orange	Fig.2
11	Leaf blade base shape	pointed acute acute obtuse round	1 2 3 4	Hira Kinokuni Ota Ponkan, Kiyomi Iyo, Encore	Fig.3
12	Leaf blade wave	none little medium much	1 3 5 7	Miyauchi Iyo Hyuganatsu, Encore Shiratori-hyuga, Ota Ponkan Kiyomi	

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
13	Leaf blade size	very small small medium large very large	1 3 5 7 9	Tankan, Kinokuni Miyauchi Iyo, Shiratori-hyuga Iyo, Hyuganatsu	
14	Leaf blade length	short medium long	3 5 7	Ota Ponkan, Kinokuni Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	Fig. 4
15	Leaf blade width	very narrow narrow medium wide very wide	1 3 5 7 9	Kinokuni, Nagami Kumquat Miyauchi Iyo, Encore Kiyomi	Fig. 4
16	Leaf shape index (length/width)	very low low medium high very high	1 3 5 7 9	Shiratori-hyuga Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Morita Ponkan Ota Ponkan, Tankan	
17	Leaf thickness	thin medium thick	3 5 7	Encore, Murcott Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Muroto-konatsu	
18	Leaf vein	not clear slightly clear clear	1 2 3	Ota Ponkan, Nagami Kumquat Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Kinokuni, Encore, Murcott	
19	Wing shape	none vestigial spindle-shaped wedge cordate	1 2 3 4 5	Kinokuni, Encore Miyauchi Iyo, Kiyomi Hyuganatsu, Shiratori-hyuga	Fig. 5
20	Wing length	short medium long	3 5 7	Hyuganatsu, Shiratori-hyuga	Fig. 4
21	Wing width	narrow medium wide	3 5 7	Hyuganatsu, Shiratori-hyuga	Fig. 4
22	Petiole length	very short short medium long very long	1 3 5 7 9	Kinokuni, Encore Miyauchi Iyo, Ota Ponkan Hyuganatsu, Kiyomi	Fig. 4
23	Petiole diameter (base)	slender medium stocky	3 5 7	Kinokuni, Encore Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Iyo, Kiyomi	
24	Inflorescence	single racemous	1 2	Morita Ponkan, Encore Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
25	Flower weight (begining of flowering)	very light light medium heavy very heavy	1 3 5 7 9	Kinokuni, Encore, Ota Ponkan, Tankan Iyo, Muroto-konatsu Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Shiratori-hyuga	
26	Petal shape (full flowering)	spindle-shaped lanceolate spatula	1 2 3	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Trifoliate orange	Fig.6
27	Petal length (full flowering)	very short short medium long very long	1 3 5 7 9	Meiwa Kumquat Tankan, Encore, Kiyomi Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	
28	Petal width (full flowering)	very narrow narrow medium wide very wide	1 3 5 7 9	Kinokuni, Nagami Kumquat Murcott Ota Ponkan, Encore, Kiyomi Miyauchi Iyo, Tankan Otani Iyo, Hyuganatsu	
29	Petal color (full flowering, outside)	white light-yellow slightly purple	1 2 3	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	
30	Petal number	4 5 6	1 2 3	Miyauchi Iyo, Encore	
31	Filament number	few medium many	3 5 7	Encore, Kiyomi Miyauchi Iyo, Kinokuni Hyuganatsu, Shiratori-hyuga	
32	Filament sepa- ration	separating partliiy separating not separating	1 2 3	Ota Ponkan, Kiyomi Miyauchi Iyo, Encore Kinokuni, Nagami Kumquat	
33	Pollens	none little medium much	1 3 5 7	Kiyomi Iyo, Encore Hyuganatsu, Shiratori-hyuga	
34	Ovary shape	long globose globose oblate globose compressed cask broad ovate pear	1 2 3 4 5 6 7	Yoshida Ponkan, Meiwa Kumquat Kinokuni, Encore Hira Kinokuni Tankan Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	Fig.7
35	Style shape	straight arched curved	1 2 3	Kinokuni, Encore Muroto-konatsu Kiyomi	Fig.8

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
36	Fruit shape	long globose globose oblate globose compressed broad ovate pear spindle-shaped	1 2 3 4 5 6 7	Nagami Kumquat, Meiwa Kumquat Miyauchi Iyo, Kiyomi Encore, Hira Kinokuni Southern yellow	longitudinal section Fig. 9
37	Fruit index (diameter/height x100)	very low very low-low low low-medium medium medium-high high high-very high very high	1 2 3 4 5 6 7 8 9	Nagami Kumquat Meiwa Kumquat Otani Iyo, Hyuganatsu Miyauchi Iyo Kinokuni, Murcott Encore Hira Kinokuni	
38	Fruit apex shape	sinking flat round protrudent	1 2 3 4	Miyauchi Iyo, Kinokuni Hyuganatsu, Encore Meiwa Kumquat, Nagami Kumquat	Fig. 10
39	Radial groove at fruit apex	absent present	1 9	Encore, Kiyomi Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	
40	Fruit apex concave ring	absent not clear present	1 5 9	Miyauchi Iyo, Kinokuni Hyuganatsu, Shiratori-hyuga	
41	Peduncle part shape	long necked short necked evenly rounded flat or truncate moderately depressed deeply depressed low collared and depressed high collared and depressed low collared and short necked	1 2 3 4 5 6 7 8 9	Ota Ponkan Hyuganatsu, Kiyomi Tankan, Kinokuni Iyo, Morita Ponkan	longitudinal section Fig. 11
42	Radial groove at peduncle part	none few medium many	1 3 5 7	Muroto-konatsu Hyuganatsu, Kinokuni Iyo, Tankan, Murcott Miyauchi Iyo, Ota Ponkan	
43	Core density	collapse sparse medium dense	1 3 5 7	Ota Ponkan Miyauchi Iyo, Encore Murcott, Kiyomi Hyuganatsu, Nagami Kumquat	
44	Core size (core diameter/ fruit diameter x 100)	very small small medium large very large	1 3 5 7 9	Hyuganatsu, Kiyomi Shiratori-hyuga, Murcott Encore Kinokuni, Otani Iyo Miyauchi Iyo, Ota Ponkan	transverse sec- tion Fig. 12

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
45	Fruit weight	very light very light—light light light—medium medium medium—heavy heavy heavy—very heavy very heavy (Kumquat) light light—medium medium medium—heavy heavy	1 2 3 4 5 6 7 8 9 3 4 5 6 7	Kinokuni Muroto-konatsu, Hira Kinokuni Ota Ponkan, Tankan Hyuganatsu, Encore Iyo, Miyauchi Iyo Round Kumquat Meiwa Kumquat Nagami Kumquat Changshou Kumquat	
46	Skin color	yellow-green yellow-white yellow yellow-orange orange dark-orange strong reddish orange strong yellowish red	1 2 3 4 5 6 7 8	Hyuganatsu Kiyomi Yoshida Ponkan, Tankan Miyauchi Iyo, Murcott Encore	at maturity time
47	Albedo color	white light-yellow light-orange pink	1 2 3 4	Hyuganatsu Miyauchi Iyo, Kinokuni Encore, Murcott	at maturity time
48	Oil gland size	small medium large mixed	3 5 7 9	Ota Ponkan, Kinokuni Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Kiyomi	at fruit equator
49	Oil gland number	few medium many	3 5 7	Otani Iyo Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Ota Ponkan, Encore	at fruit equator
50	Oil gland surface	concave flat convex convex and concave mixed	1 2 3 4	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Otani Iyo, Encore Ota Ponkan, Kiyomi	at fruit equator
51	Fruit surface	smooth smooth—medium medium medium—rough rough	3 4 5 6 7	Murcott, Nagami Kumquat Hyuganatsu, Encore Miyauchi Iyo, Tankan Iyo, Hira Kinokuni	at fruit equator
52	Peel thickness	very thin thin medium thick very thick	1 3 5 7 9	Kinokuni Tankan, Encore Ota Ponkan, Meiwa Kumquat Iyo, Hyuganatsu	Fig. 12

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
53	Pericarp percentage	very small small medium large very large	1 3 5 7 9	Murcott Tankan Kinokuni, Encore Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Nagami Kumquat	pericarp weight/ fruit weight×100
54	Peeling	easy easy-medium medium medium-difficult difficult	3 4 5 6 7	Ota Ponkan, Kinokuni Tankan, Encore Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Otani Iyo, Kiyomi Seihou	
55	Septum firmness	soft medium hard	3 5 7	Ota Ponkan, Murcott Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Hayaka	
56	Juice sack shape	short medium thin-long thick-long	1 2 3 4	Ota Ponkan, Kinokuni Miyauchi Iyo, Encore Tankan	
57	Juice sack size	very small small medium large very large	1 3 5 7 9	Nagami Kumquat Tankan, Kinokuni Hyuganatsu, Ota Ponkan Miyauchi Iyo	
58	Flesh color	light-green yellow-white yellow yellow-orange orange dark-orange pink red-purple	1 2 3 4 5 6 7 8	Hyuganatsu Miyauchi Iyo, Meiwa Kumquat Tankan, Kiyomi	transverse section
59	Juiciness of flesh	unjuicy medium juicy	3 5 7	Meiwa Kumquat Miyauchi Iyo, Encore	
60	Sweetness	low low-medium medium medium-high high	3 4 5 6 7	Hyuganatsu Miyauchi Iyo, Ota Ponkan Kinokuni, Kiyomi Encore, Nagami Kumquat	Brix
61	Bitterness	not bitter bitter	1 9	Miyauchi Iyo, Encore	
62	Acidity	very low low medium high very high	1 3 5 7 9	Ota Ponkan, Seedless Kinokuni Kinokuni, Encore Miyauchi Iyo, Muroto-konatsu Hyuganatsu, Nagami Kumquat	citric acid quantity
63	Flavor	weak medium strong	3 5 7	Kinokuni Hyuganatsu, Kiyomi Ota Ponkan, Encore	

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
64	Flaver category				write similar variety
65	Seeds	none few medium many	1 3 5 7	Seedless Kinokuni Miyauchi Iyo, Tankan Ota Ponkan, Kinokuni Iyo, Encore	
66	Embryo color (multigerm only)	white yellow-white light-green green	1 2 3 4	Tankan, Murcott Ota Ponkan, Meiwa Kumquat	
67	Polyembryony	monogerm multigerm	1 2	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Morita Ponkan, Murcott	
68	Sprouting time	early medium late	3 5 7	Iyo, Hyuganatsu	
69	Flowering time	early medium late	3 5 7	Iyo, Hyuganatsu	
70	Perpetual flowering	absent present	1 9	Miyauchi Iyo, Kinokuni Nagami Kumquat	
71	Time of maturity	very early very early-early early early-medium medium medium-late late late-very late very late	1 2 3 4 5 6 7 8 9	Kinokuni Ota Ponkan Miyauchi Iyo, Yoshida Ponkan Otani Iyo, Encore Iyo, Shiratori-hyuga Hyuganatsu	
72	Alternate year bearing	light medium strong	3 5 7	Miyauchi Iyo, Kinokuni Ota Ponkan, Murcott Encore, Kiyomi	
73	coloration	poor good	1 9	Hayaka Miyauchi Iyo, Kinokuni	
74	Preharvest drop	none few medium many	1 3 5 7	Shiikuwasha Miyauchi Iyo, Encore Ariake Trifoliate orange	
75	Sunscauld (fruit)	none little medium much	1 3 5 7	Shiratori-hyuga, Ota Ponkan Miyauchi Iyo, Kinokuni	
76	Fruit puffing	none little medium much	1 3 5 7	Hyuganatsu, Kiyomi Miyauchi Iyo, Encore Tankan, Kinokuni Ota Ponkan, Hira Kinokuni	

No	Characteristics	State	Note	Standard Varieties	Remarks
77	Fruit cracking	none little medium much	1 3 5 7	Miyauchi Iyo, Encore Ariake	
78	Other physiological disorder	none little medium much	1 3 5 7		
79	Shelf-life	short medium long	3 5 7	Kinokuni, Nagami Kumquat Ota Ponkan, Encore Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	
80	Fruit cold hardness	weak medium strong	3 5 7	Miyauchi Iyo, Nagami Kumquat	
81	Tree cold hardness	weak medium strong	3 5 7	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu Ota Ponkan, Kiyomi	
82	Canker resistance	weak medium strong	3 5 7	Murcott Hyuganatsu, Yoshida Ponkan	
83	Citrus scab resistance	weak medium strong	3 5 7	Kiyomi, Nagami Kumquat Miyauchi Iyo, Encore	
84	Melanose resistance	weak medium strong	3 5 7	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	
85	Arrowhead scale resistance	weak medium strong	3 5 7	Miyauchi Iyo, Hyuganatsu	
86	Peel sweetness (Kumquats)	low medium high	3 5 7		
87	Peel bitterness (Kumquats)	not bitter bitter	1 9	Meiwa Kumquat, Nagami Kumquat	

台木用品種の審査基準

(注意) 台木用品種として申請する場合には、その品種が属するいずれかの審査基準(温州ミカン、オレンジ類、ブンタン類、香酸カンキツ類、その他のカンキツ類)による特性調査とともに、台木用品種の特性調査を併せて実施する。

No	形 質	定 義	調 査 方 法
1	接ぎ木の難易	接ぎ木活着率の良否	ユズ、カラタチなど既存のカンキツ 台木用品種との比較
2	実生の揃い	播種後の実生の生育の均一さの程度	観察による調査
3	栄養繁殖の難易	単胚性品種及び種子の獲得が困難な多胚性品種を台木として用いようとする場合の栄養繁殖の難易の程度	挿し木、取り木等の難易
4	接ぎ木後の樹勢	接ぎ木後の苗の伸長程度及び幼木の樹容積の拡大程度	ユズ、カラタチなど既存のカンキツ 台木用品種との比較
5	台木の根の発育	接ぎ木後の発根量及び苗木定植後の根の発育量	掘り上げ解体調査 ユズ、カラタチなど既存のカンキツ 台木用品種との比較
6	耐湿性	カンキツ園の中でも水はけの悪い条件下を想定した場合の生育の良否	観察による調査 必要に応じて土壌の種類、土壌水分などによるポット試験を実施
7	耐干性	干害を想定した場合の生育の良否	観察による調査 必要に応じて土壌の種類、土壌水分などによるポット試験を実施

狀 態	階級	標 準 品 種
易 中 難	3 5 7	
不良 中 良	3 5 7	
易 中 難	3 5 7	
弱 中 強	3 5 7	
少 中 多	3 5 7	
弱 中 強	3 5 7	
弱 中 強	3 5 7	